

文部鳥麻呂

小針クリンセンター付近に広がる小針遺跡の平安時代前半（9世紀前半）の住居跡から、「丈部鳥麻呂」という人物の名前が刻まれた紡錘車が出土しています。紡錘車は繊維に撚りをかけて糸を紡ぐときに使うはずみ車です。紡錘車には所有者の名を刻むこともありますが、この紡錘車は本来の用途を終えて祭祀に使われた可能性があり、刻まれている人物は祭祀を執り行う責任者で、集落もしくは地域の統率者ではないかと推測されます。この「丈部鳥麻呂」とはどのような人物だったのでしょうか。

埼玉古墳群の稲荷山古墳から出土した国宝の辛亥銘鉄剣には、剣を作ったオワケの臣の一族が代々「杖刀人首」（大王の親衛隊長）を務めたと記されています。この軍事に携わる部民である「杖刀人」が、後に「丈部」性を名乗ることが、古代史の研究者によって指摘されています。辛亥銘鉄剣とこの紡錘車とは300年以上の年代差があるので、両者を短絡



「丈部鳥麻呂」の名が刻まれた紡錘車

的に結びつけることは危険ですが、小針遺跡が古墳時代には埼玉古墳群を直接的に支えていた集落であったこともあり、「丈部鳥麻呂」が「杖刀人首」であったオワケの臣の末裔である可能性も考えられます。埼玉古墳群を築いたころのような権力者ではないと思われませんが、古墳時代以降もオワケの臣の一族が平安時代に至るまでこの地に留まり、地域の有力者であり続けたのかもしれない。

「丈部鳥麻呂」については、オワケの臣の末裔ではなく、奈良時代の天平宝字8年（764）に起こった恵美押勝の乱の鎮圧で活躍し、武蔵国造に任命された丈部直不破（まろ）麻呂に連なる人物ではないかも推測されています。不破麻呂の一族はその後武蔵国造を務め、足立群を本拠に大宮の水川神社を奉斎していたことから、その一族につながる人物が、この地で祭祀を執り行った可能性も考えられます。

いずれにせよ、平安時代に軍事に携わる部民の末裔である「丈部」がいたことが、この紡錘車の出土から伺い知れます。

（文化財保護課 中島洋一）

こせに ちゃんが 行く! with フラベス 福祉施設編

大地 (運営:社会福祉法人健翔会)

今日は平成24年6月に開設された「大地」に行ってきたよ。ここは木造平屋建てで、温かみを感じる「木」にこだわった施設なんだ。パン工房もあるんだよ。すご〜い!

現在、この施設を利用しているのは21人。午前中はパンやクッキーのラッピング袋に値札シールを貼り付けたり、農作業やリサイクル活動を行ったりと仕事に励んでいるんだ。その代わりに、午後はレクリエーションタイム。農場で取れた野菜と一緒に料理して食べたり、簡単な実験をしたりして楽しんでいるよ。プログラムが毎日違うので、利用者は生き生きとした生活が送れているんだって。

12月のクリスマス会は、総勢100人が集まってパーティーが開かれるんだよ。既にかわいい飾り付けもされていてクリスマスモード全開! サンタさんを迎える準備はバッチリだね。

【住所】小見1144-2 【電話番号】555-6166



このコーナーで紹介する施設を募集していますので、希望される場合は広報広聴課までご連絡ください。

編集・発行 / 行田市総合政策部広報広聴課  
TEL 555-6111 行田市本丸2番5号  
FAX 555-0211

今月の表紙

北小学校の体育の授業では、今年から地下足袋を導入しています。11月5日に行われた跳び箱の授業では、4年生の児童が回転技である台上前転に挑戦。足にフィットする足袋独特の感触を味わいながら思い切って踏み切り、見事な着地を決めていました。

- 市報ぎょうだに掲載されているあなたの写真を差し上げます。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当(内線318)まで。
- 市民の皆さんの市政に対するご意見をお待ちしています。
- 市報をCD-Rに録音したものを希望者宅にお届けします。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当(内線318)までご連絡ください。



市報ぎょうだは再生紙を使用しています